

1 1. 教育

	タイトル	意見等
1	高校の学区は人口減を見据えて	鳴門・石井・板野の首長の学区制の徳島校区へ編入希望がある。簡単である。鳴門・名西・板野の各高校を廃校にいて徳島校区にすればよい。人口減で、徳島市内に現在の高校は多すぎる。板野町の人口でも高校は不要である。鳴門は渦潮高校を特色ある高校で存続。徳島市内からの生徒の希望はないと思われる鳴門高の普通科は廃止である。石井は人口が多いのであるが、名西高への希望は少なく徳島へ流れる。徳島市内の高校で十分吸収できるので、廃校。芸術科を城西に移転。高校の設置費用の削減ができる。地元が希望しない高校を設置して予算を使う無駄はよしでしょう。簡単に言えば徳島市内の高校を削減するのが順序だが、幸い高校は要らない市町があるのである。小手先より先を見越して廃校にしましょう。
2	中高生の通学時の自転車走行	こんにちは。ご多用のところ申し訳ございませんが、小学生にとって危険な状況があったので目安箱に投函させていただきました。 県道39号線は路側帯が自転車の走行を促すために、路面に青色に塗り分けた自転車レーンが設けられています。 小学生が信号を横断しているときに、中高生の自転車が赤信号であっても小学生の団体に突撃をしたり、逆走をしたりするなど非常に危険な状況で、子ども達を守るにも守れない状態です。 これが起きている原因として、自転車＝車両 という認識が中高生には足りておらず、道路側を走行している以上は赤信号で停まらなければならないが、歩道を走行している感覚で停まる義務が無い、意識すらできていないためと考えられます。 さらに、この状況でスマートフォンを片手に走行する学生、ブルートゥースイヤホンをして走行する学生が小学生に突撃して、子ども達の隙間を縫って走行している状況はいずれ重大な事故に発展するのは自明でしょう。 そのため、自転車レーンを塗り分けて促した以上は、赤信号のときは停まる、逆走はダメ、なんなら警察が危険走行の学生を取り締まるといった対応が行政として必要だと考えます。 もし、小学生に突っ込んだ場合、学生は間違いなく逃げるでしょう。もしかすると、すでに事故が起きて泣き寝入りしている子どもがいるかもしれません。 そしてこの状況は今回の場に限らず、自転車レーンのある地域で同様のリスクが起きているのは確実でしょう。 以上より、教育委員会や学校、自転車レーンを塗り分ける事業を実施した行政にて、定期的な中高生への指導を求めます。 この教育がままならず大人になれば、東京でも見かける愚かな走行をする自転車や電動キックボード乗りの人間になるでしょう。 本人達は知らないから無自覚で悪意がないのでしょう。 すでに私も突撃する学生を無理矢理停めることすらあります。ですが、それすら避けて突っ込んでくる学生もいます。 一度、その危険性をご覧になってみてください。毎日起きていることです。
3	徳島新未来創生に向けた教育再生について	○後藤田正純徳島県知事は、徳島新未来創生に向けた教育再生をしなければならない。 1. 徳島県に慶応義塾大学徳島中等教育学校を開校する 2. 鳴門教育大学の大学のキャンパス敷地内に、鳴門教育大学附属中等教育学校を開校する。 3. 徳島県内の県立高等学校の普通科をすべて文理科への学科改組を行う。(大学の経済学・統計学・会計学などには数学の知識が必要) 4. 徳島県立鳴門高等学校、徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校に理数科の復活を行う。 5. 徳島県立富岡東高等学校と徳島県立富岡東中等学校を統合して、徳島県立富岡東中等教育学校にする。 6. 徳島県立川島高等学校と徳島県立川島中学校を統合して、徳島県立川島中等教育学校にする。 ※ 三木申三元徳島県知事は旧制徳島県立麻植中学校の卒業(現在 徳島県立川島高等学校) 7. 徳島県立徳島県立北高等学校を徳島県立徳島県立徳島国際高等学校にする。 ※ 東京都立国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、兵庫県立国際高等学校など
4	徳島新未来創生に向けた教育再生について	○後藤田正純徳島県知事は徳島新未来創生に向けた教育再生において、徳島県に世界の名門大学を誘致開学させなければならない。 ※世界の名門⇒オックスフォード大学、スタンフォード大学、ハーバード大学、ケンブリッジ大学、プリンストン大学、イエール大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学など
5	教師の安全意識について	県立学校の通学路で、教師の運転する自家用車が方向指示器(ウィンカー)を操作せずに丁字路を左折した。丁字路には生徒がいたため危険度が高いと感じた。生徒への模範となるべき教師としては不適切な行動ですので、安全意識向上の取り組みをお願いしたい。
6	徳島大学における総合大学化の推進について	○後藤田正純徳島県知事は徳島大学経営協議会を通じて「徳島大学における総合大学化」を推進をしなければならない。 ※ 具体的には、徳島大学総合科学部を法学部・経済学部・商学部・文学部へと学部改組を行う。 ⇒例 慶応義塾大学法学部・経済学部・商学部・文学部 ※ 具体的には、徳島大学医学部保健学科を看護医療学部へと分離独立させる。 ⇒例 慶応義塾大学看護医療学部 ※ 具体的には、徳島大学に外国語学部と国際関係学部を新たに開設を行う。

11. 教育

	タイトル	意見等
7	ブラック部活廃止	子供が小学校中学校でスポーツをやっています。 小中学校共に慣例としてに行っている監督コーチ関係者へのご接待が親の負担になっています。 日々の飲み物からお昼ご飯のお世話まで部費として集めているお金からねん出されています。 部費として集めているお金の使い道としては非常に不適切です。 小学校はボランティアで指導いただいています但しボランティアに対して対価を払ってしまうのは不健全です。 中学校については公立学校の部活動として行っているにも関わらず教員が平然と対価を受け取るのはいかがなものでしょう。 こんな慣習をいつまでもやってるからジュニアスポーツはメンドクサイと言われ衰退し続けています。 スポーツ振興を目指すのであれば、親にとってのブラック部活の解消を県として推進していただけないでしょうか。 ジュニアスポーツとジュニアスポーツの流れを汲む部活動のご接待について徳島県は特に酷い状況だと思います。
8	地域活性化対策について	○後藤田正純徳島県知事は地方活性化対策で、徳島県に世界の名門大学を誘致開学させなければならない。 ※ 世界の名門大学⇒オックスフォード大学・スタンフォード大学、ハーバード大学・ケンブリッジ大学・プリンストン大学・イエール大学・カリフォルニア工科大学・マサチューセッツ工科大学など ○後藤田正純徳島県知事は地方活性化対策で、神山まると高等専門学校を慶応義塾大学理工学部直結の慶応義塾大学理工学部神山まると高等専門学校にしなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は地方活性化対策で、徳島県に慶応義塾大学徳島中等教育学校を開校しなければならない。 ※ 明治8年7月に徳島慶応義塾が開校している。⇒徳島県庁の敷地内に徳島慶応義塾跡記念碑が建立されている。